

第 133 回歯科臨床医リフレッシュセミナー 【17:30~19:00】

座長：吉岡 泉 先生（九州歯科大学 生体機能学講座 口腔内科学分野）

子どもの虐待医学と環境

北九州市立八幡病院 統括部長・小児総合医療センター長
神蘭 淳司 先生



歯科医は、医師とくに小児科医とともに子ども虐待とネグレクトを早期に発見し、児童相談所等の関連機関との連携を迅速に開始しなければならない。まず小児救急医療の現場で遭遇するネグレクト環境の子どもと保護者の特徴を共有する。特に代表的なデンタル・ネグレクトである歯髄感染症・下顎前歯のランパントカリエス・哺乳瓶虫歯や顔面・頭頸部・口腔内・歯の身体的損傷に関する子ども虐待医学のエビデンスを紹介し、医歯連携の取り組む必要のある子ども虐待医学を整理したい。さらに 1990 年代から北米で取り組まれてきた P.A.N.D.A.（Prevent Abuse and Neglect through Dental Awareness）プログラムの歴史を振り返り、本邦における虐待やネグレクト疑い症例に対する医科歯科連携の具体的な方法を模索したい。

虐待やマルトリートメントに直面している子どもと保護者への医療者の役割は、迅速な情報収集と評価の開始と、病院として支援の具体的な方策を導き出すことである。歯科診療において家族と子どもたちに「虐待環境を抱えている」と疑われた時、「できる限り深い理解」と「感情と行動を区別して接する努力」が求められる。絶望的な状況にありながら、繊細な感情をもった家族と子どもなのである。支援の言葉や態度という医療技法の修得は日常診療のスキルとして子ども虐待診療において必要条件であり、具体的な方法をご紹介したい。

略 歴

北九州市立八幡病院 統括部長・小児総合医療センター長
日本子ども虐待医学会 理事
日本小児救急医学会 理事
日本小児科学会 評議員 小児救急委員会 副委員長
北九州市 要保護児童対策地域協議会 会長

学歴： 1990 年 産業医科大学医学部卒業
職歴： 2018 年 北九州市立八幡病院 小児救急・小児総合医療センター長
2020 年 北九州市立八幡病院 統括部長・小児総合医療センター長
現在 院内「家族と子どもの支援委員会（エフアンドシー）」委員長
小児救急医療・子ども虐待医学に従事